



(大阪)

2022年 新年号

# プレス 会報

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

## 目 次

◆令和4年 年頭所感	
多田 修    大阪金属プレス工業会会長・・・	1
吉村 洋文    大阪府知事	3
◆夏山享啓（前会長）旭日双光章受章	5
◆理事会・事業推進協議会・委員会 活動報告	6
◆青年部会活動報告	7
◆SDGs セミナー 報告	8
◆DXセミナーのご案内	9
◆金属プレス加工技術展 出展のご案内	11
◆新年賀詞交歓会のご案内	13

## 工業会からのご連絡（会員の方へ）

○新春特別講演会と新年賀詞交歓会は2022年1月24日（月）に開催の予定です。

○次の社員総会は2022年5月23日（月）に開催の予定です。

※コロナ禍がまだまだ続きますが、事業やイベントを徐々に再開しておりますので多数ご参加下さい。

一般社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

# 年頭のご挨拶



(一社) 大阪金属プレス工業会  
代表理事 多田 修

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、令和4年の新年をおだやかに迎えのこととお慶び申し上げます。また旧年中は皆様に大変お世話になり、多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年は半導体不足や原材料の高騰などにより一年中振り回され、一昨年に続きコロナに始まりコロナに終わり、あっという間の一年であったように思います。東京オリンピックもありましたが、もうずいぶん前のことのように感じますし、本当に明るい話題と言えば大谷翔平選手の活躍だけだったような気がしております。

昨年秋に岸田新政権がスタートとし、経済に関しても大いに期待したいところですが、まだこれといった効果的な経済対策が打ち出せていると言えない状況です。

一方で、世界に目を向けますと、各国の思惑が様々な形で分断や対立を生み、日本は二つの大国に挟まれて右往左往している状態です。特に気候変動や原材料を含む資源高の問題は他人事では済まされない重要な課題です。

他にも、技術承継、人材不足、後継者問題など課題が山積し、我々経営者にとって大変な舵取りが続いており前途多難ではありますが、しっかり前を向いて様々な問題乗り越えていく責任が我々の世代にはあるのではないかと思います。

かつて近江商人が大切にしていた「三方よし」という言葉がありますが、この「売り手よし、買い手よし、世間よし」という三方に、これからの時代は、「作り手よし、地球よし、未来よし」の三つを加え「六方よし」という考え方が必要ではないでしょうか。

日本の産業を下支えしている我々「作り手」がものづくりを通じて真価を発揮する。そしてその活動の舞台である「地球」を健康な状態に保つ。さらに次の世代やそれに続く

「未来」の世代に負の遺産を遺さない。という未来経営の視点を持った行動が求められている時代です。

大阪金属プレス工業会におきましても、「会員の皆様を守り育てる、会員の皆様と一緒に未来につなぐ」という理念のもと、様々な事業を展開して参りましたが、先程紹介した「六方良し」という理念に基づき、未来世代に繋がる「SDGs」に対する新しい取り組みを始めました。またその他にも今や避けて通れない「DX(デジタルトランスフォーメーション)」の導入支援にも取り組み、会員各社様のブランド価値の向上に貢献して参りたいと考えております。

「ウイズコロナ」という時代を迎え我々は変化しなければなりません。

コロナにより私たちの生活は大きく変わろうとしておりますが、コロナでなくても我々を取り巻く経営環境は大きなうねりの如く変化しており、そのような時代を生き抜くためには「変わる」しか道はありません。

過去の延長線上で直線的に伸びる「成長」だけではなく、青虫からさなぎへ、さなぎから蝶に変身するかの如く、考え方や価値観を大きく転換し「変容」することこそが必要です。

この「変容」には大きな不安が伴い、不退転の勇気も必要であり、過去を全否定することかもしれません。また様々な葛藤や混乱が生じるかもしれませんが、変化を恐れず挑戦する意欲を持ってこそ「変容」という大きな転換を起こせるのではないのでしょうか。

過去の延長線上の「成長」には限界があります。

「変容なくして成長なし」という言葉を胸に刻み、この多難な一年を皆様と共に乗り切っていきたいと思っております。

本年も、「会員の皆様を守り育てる、会員の皆様と一緒に未来につなぐ」という50周年のスローガンと「六方良し」という未来経営の理念に沿って、会員の皆様の「成長と変容」に繋がる事業を展開して参る所存です。尚一層のご指導とご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社様の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



知事年頭所感 令和4(2022)年

大阪府知事 吉村 洋文

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者が府内で初めて確認されてから間もなく2年となります。当初は未知のウイルスへの対応に苦慮しましたが、府民のいのちと暮らしを守ることを最優先に、府民・事業者の皆さまの多大なご協力をいただきながら、全力で感染防止対策に取り組んできました。昨年も感染急拡大による厳しい時期がありましたが、ワクチン接種の促進等により感染は落ち着いた状況にあります。

ただ、新たな変異株であるオミクロン株が確認されており、感染拡大のリスクは常にあります。引き続き、緊張感を持ってコロナ対策にしっかりと取り組むとともに、府民の皆様には、基本的な感染防止対策の徹底にご理解・ご協力をお願いします。2022年は大阪・関西万博をインパクトに、大阪経済を回復させ、再び成長軌道に乗せていく一年としていきます。

府民のいのちと暮らしを守るため、コロナ対策に万全を期します。

早期に抗体カクテル治療が受けられる体制を整備するなど重症化を防ぐ早期治療体制の拡充や、感染の急拡大にも対応できる必要病床数の確保など医療提供体制の充実を進めていきます。さらに、ワクチンの追加接種(3回目接種)に着実に取り組むとともに、ゴールドステッカーをはじめとした安心して飲食できる環境づくりなど感染防止対策を徹底します。

また、大阪経済の回復に向け、コロナで影響を受けた観光・文化・飲食などの事業者への支援や需要喚起策を実施するとともに、厳しい雇用情勢を踏まえ、再就職支援などの取組みを強化します。

さらに、コロナ禍で府民の暮らしが不安定になっていることから、自殺や貧困、虐待への対応を強化するなど、府民が安心して生活できるセーフティネットを充実させていきます。

今後は、ウイルスとの共存を図りながら、感染防止対策の徹底と社会経済活動の維持の両立をめざします。

コロナ対策を着実に進めながら、大阪経済をV字回復させ、さらなる高みへと導くことで、「世界の中で躍動し、成長し続ける大阪」の実現をめざします。

2025年大阪・関西万博はポストコロナの新たな未来を切り拓くシンボルです。開催まで3年余りとなった万博の成功に取り組むとともに、世界の課題解決に貢献するSDGs先進都市をめざします。

地元大阪としては、未来の医療や生活を感じる展示により、ワクワクしながら驚きや新たな感動を味わえる参加型の「大阪パビリオン」の出展をめざします。また、万博に先駆け、インターネット上に「バーチャル大阪」を開設しました。今後、大阪の都市魅力を国内外に発信するとともに、万博へ

の来場意欲をかき立てるコンテンツを揃えていきます。

また、万博を一過性のイベントとせずレガシーとして継承していくことが重要です。大阪が持つ強みとポテンシャルを活かしたライフサイエンス・ヘルスケア分野やカーボンニュートラル実現に向けたイノベーションの創出、さらには夢洲地区・うめきた2期地区におけるスーパーシティによる大胆な規制改革を通じて、住民生活の質の向上につながる先端的サービスの実装をめざします。また、万博を契機に、生活・経済圏が一体である兵庫県との連携を進める会議を設置し、大阪・関西の成長に確実に結び付けていきます。

万博とともに、大阪・関西の飛躍のけん引役となるのが、IRと国際金融都市の実現です。

IRについては、昨年、設置運営事業予定者が決まり、2029年秋から冬頃の開業に向けた体制が整いました。毎年1兆1,400億円の経済波及効果が見込まれる世界最高水準の成長型IRの実現に向けて取り組みます。

また、「国際金融都市OSAKA」の実現に向け、海外事業者に対するプロモーション活動などを展開するとともに、東京とは異なる個性・機能を持つ「金融をテコに発展するグローバル都市」と「金融のフロントランナー都市」をめざすべき都市像として、官民一体のオール大阪の体制で取組みを加速させます。

大阪の成長・発展には、その基盤となる都市インフラとまちづくりが不可欠です。関西国際空港の機能強化や、淀川左岸線延伸部及びなにわ筋線をはじめとする道路・鉄道ネットワークの整備を進めます。また、うめきた2期、大阪城東部地区、新大阪駅周辺地域といった都心エリアをはじめとする府内の拠点形成を進めるとともに、2050年に向けた大阪全体のまちづくりの方向性を示す新しいグランドデザインを策定していきます。

人口減少・少子高齢化が進展する中で、大阪が将来にわたって活気にあふれ、元気なまちであり続ける土台をつくり、未来を切り拓いていくのは若い力です。学校教育においては、ICTを活用した質の向上を実現するとともに、新たに顕在化したヤングケアラーの課題にも取り組み、次世代を担う子どもたちを支え、力を伸ばしていきます。また、4月に開学する全国最大規模の公立総合大学である大阪公立大学では、地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材の育成に取り組めます。

私の任期も、残すところ一年余りとなりました。

これまで、「世界の中で躍動し、成長し続ける大阪」の実現をめざし、G20大阪サミットの開催やIRの誘致、スタートアップ・エコシステムの推進などに全力を尽くしてきましたが、就任当時には予想もしなかったコロナという難題に直面しました。この未曾有の危機を乗り越え、大阪を再び成長のステージに乗せていくことが、私に課せられた最大の使命だと考えています。

そのためには、これまで以上に大阪市との連携をより強固なものとし、府市一体、広域一元化を通じて、東西二極の一極として日本の成長をけん引する「副首都・大阪」の実現につなげていきます。

本年も、府民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げますとともに、皆様にとって素晴らしい年となりますようにお祈りいたします。

# 祝 夏山享啓様 旭日双光章

令和3年秋の国家栄典において夏山享啓様（当工業会 前会長、夏山金属工業株式会社 代表取締役社長）が旭日双光章を受章されました  
おめでとうございます 心からお慶び申し上げます



（文面）日本国天皇は夏山享啓に旭日雙光章を授与する 皇居において璽をおさせる

（解説）璽（じ）とは中央の印のこと、国家の表象の印章で大日本国璽（こくじ）という

約9cm四方の金製の印で重さ約3.5kg、左下が欠けているのが本物の証拠だとか？

璽をおさせるという表記は天皇陛下が自ら押すのではなく人に押させるということ

# 理事会・事業推進協議会・委員会 報告

開催日時、場所	内 容	参加者	写 真
第1回 総務・経営委員会 10月12日 18時 工業会事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsセミナー 11/9 開催</li> <li>・忘年会 12/9</li> <li>・講演会、賀詞交歓会 1/24</li> <li>・金属プレス加工技術展 2022</li> </ul>	6名	
第22回 理事会 10月27日 18時 たかつガーデン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会に先立ち 17時から素形材ガイドライン改訂版セミナーを実施(講師:経済産業省)</li> <li>・令和3年度上期決算及び会員異動報告</li> <li>・事業推進協議会から報告</li> <li>・総務・経営委員会から報告</li> <li>・安全・技術委員会から報告</li> </ul>	理事 12名 監事 2名	
第2回 安全・技術委員会 11月8日 18時 たかつガーデン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DXへの取り組みについて(株)大塚商会様の説明・提案</li> <li>・金属プレス加工技術展 2022</li> </ul>	9名	
第2回 事業推進協議会 11月18日 17時45分 たかつガーデン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務・経営委員会「SDGs」状況と今後の取り組み</li> <li>・安全・技術委員会「DX」状況と今後の取り組み</li> <li>・大阪府との連携懇談会</li> <li>・賀詞交歓会について</li> <li>・金属プレス加工技術展 2022</li> </ul>	7名	

(次ページへつづく)

(つづき)

開催日時、場所	内 容	参加者	写 真
第2回 総務・経営委員会 11月25日 18時 工業会事務局	・SDGsセミナー 報告 ・賀詞交歓会について ・特別講演会について	4名	
第3回 安全・技術委員会 12月15日 18時 たかつガーデン	・DXへの取り組みについて ・金属プレス加工技術展 2022 ・金属プレス加工研修塾	10名	

※参加者名簿、内容の詳細は、当工業会HPの事業報告ページに記載の議事録をご覧ください。

## 青年部会 活動報告

青年部会とは、50歳以下の次代を担う若手経営者及び経営幹部の活動の場です。

青年部会もコロナ禍で活動の自粛(延期、中止)が相次いでおりましたが徐々に活動を再開しています。

本来は3月に卒業式の予定ですが、田淵氏におかれましては延期が続いてようやく10月に卒業式を実施することが出来ました。また前年は中止になりました3会(3地区 愛知、京都、大阪)の青年部会による年1回の合同懇親会を今回は愛知県名古屋市にて実施致しました。感染症の状況を見ながらですが、今後も積極的に活動を再開して行く予定です。



10月20日 田淵氏(右)卒業式



11月19日 3会(3地区)合同懇親会

**青年部会では会員を募集  
しています！**

50歳以下の若手経営者及び  
経営幹部の方で興味のある  
方は事務局まで  
TEL:06-6762-8629



# SDG s セミナー 報告

日 時：令和3年11月9日（火）16時00分から17時25分まで  
会 場：たかつガーデン 「オリーブ」  
参加者：26名（会員様の参加者 24名）  
講 師：吉本圭吾氏（りそなホールディングス SDG s 推進室長）  
演 題：「今から始める SDG s ～事業の成長を見据えた設備投資と人材確保～」

最近は毎日のように飛び交う「SDG s」という言葉、なんとなくわかっているようでも詳しくはわからない、特に中小企業の金属プレス製造業として何をすればよいのか、何から始めればよいのか、これらの疑問に答えるべく会員様に向けて SDG s についてのセミナーを開催致しました。

SDG s で世の中の何が変わろうとしているか、「環境」「社会」「経済」の関係の変化、環境・社会に支えられた経済から環境・社会を支える経済へ、経済は健全な環境と社会の上に成り立ち、経済が成長するためには環境と社会が持続する必要がある。これらの持続可能な共通目標が SDG s であるとのこと説明でした。昔は安くて高品質な物に価値がありましたが、これからは環境や社会に悪影響がある物は経済的な価値が低いとのことでした。

「環境」の代表格が「カーボンニュートラル」カーボンニュートラルとは温室効果ガスの排出量をゼロにすることですが、完全にゼロにすることは難しいため、“差し引きゼロ”を目指すことを指します。石炭火力発電は経済成長を支えてきたエネルギー源でしたが、経済が拡大・成長した現在では温室効果ガスの排出量が問題となり否定的です。環境を犠牲にする経済活動は、長い目で見て経済的な価値がないという価値観に変わっているそうです。温室効果ガス削減の取り組みは急速に広まり、自動車メーカーはじめ各大手企業には、サプライチェーン排出量全体を“実質ゼロ”にする圧力がかかっているそうです。その動きが仕入先・下請け先の中小企業に及んできており、自社の温室効果ガス排出量の把握に取り組む企業が増えているとのことでした。中小企業として取引先からの削減要請をどう考えるか、意欲的に取り組み成果をアピールすることで選ばれる企業になることが大事であり、まずはその第一歩として自社の温室効果ガスの排出量算定から始めることが良いのではないのでしょうか、というご説明でした。Scope1,2,3 というカテゴリー区分のご説明があり、それぞれの算出方法についてのご説明がありました。意外と単純な計算式で排出量を算出することが出来そうでした。更には排出量を削減する方法についても製造業の事例をあげて具体的にご説明を頂きました。「カーボンニュートラル」についての理解がかなり深まったのではないのでしょうか。

最後に、人権をめぐる動きと事業への影響についてのお話がありました。ユニクロが新疆ウイグル自治区の綿を使用して販売停止に追い込まれた例など大手企業はすでに影響を受け、今後は中小企業にも波及

します。中小企業としてどういうことに気を付ければよいか、事前に“セルフチェック”で備える方法などをご説明頂きました。また健康経営をアピールするための“健康経営優良法人認定制度”についてもご説明頂き皆さん興味津々でした。

講義の終了後には質疑応答の時間があり、最後にアンケートをご提出頂いて終了致しました。ご参加頂いた皆様有難うございました。今後は SDG s についてはフォローを続けたいと思います。今回の企画にご尽力頂いた関健一理事とご講演頂いたりそなホールディングス様及びりそな銀行様に感謝致します。



# 大阪金属プレス工業会 会員向け DXセミナーのご案内

会員企業様へ

DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入、支援のためのセミナーを開催致します。  
是非ご参加下さい。(参加無料)

経営者様および上級管理者様向けのエグゼクティブセミナーです

開催  
日時

2022年1月26日(水)  
[14:00 ~ 15:00]

講師は中山康弘氏  
(株大塚商会)



会場：たかつガーデン「オリーブ」(大阪市天王寺区東高津町7-11)

経営者・管理者・情報システム関連担当者向け

1/26 14:00~15:00

DXセミナー

企業が始めるDXは、DXとはIT化するのではなく、情報戦略立案が成功のポイント!

氾濫する「DX」という言葉。多くの会社が取り組むべき課題としながらもツール選定に重きを置き導入目的が見いだせてない状況です。

大塚商会は20年以上も前からDXを実現し、従業員を増やさず売上を3倍にしてきました。

DXとはIT化することではありません。本当の成功はツールの導入ではなく、情報戦略を立案する所から始まります。日々お客様のDXへの取組に直面している専門的な立場からDX成功のポイントについて、具体的な事例も交え詳しくご紹介します。

株式会社大塚商会 本部S I統括部 中小企業診断士 中山 康広

2015年国際認証AACSB、AMBA経営学修士号(MBA)取得。中小企業経営者に診断士とファイナンシャルプランナーという公私両側面を包括的に支援し、経営コンサルティング、大学客員講師、外部セミナー講師など意欲的に活動。

大塚商会は、「DX認定取得事業者」としての認定を、2021年4月1日に取得しました。  
今回のイベントではITを活用し、社員の多様な働き方の選択肢をご用意。  
長年自社で培ってきた「DX」のノウハウをソリューションとしてご紹介します。



**DXでお悩みのお客様 「DXってなに？」 「ボンヤリしすぎてわからない」 …皆様、ぜひお申し込みください！**

## セミナー資料から3つのポイント！

### 《セミナー資料より抜粋》その1

多くの会社に取り組むべき課題としてあげる「DX」

しかし実態は  
「DXってなに？」  
「何から始めてよいのかわからない」

「DXツール」を導入したものの、  
**便利だが経営に影響がない導入でおわる企業が後をたちません**

#### 失敗する“DXツール”の定義

DXツールはベンダーの言う通り稼働した。  
しかし、

- ・貸借対照表 (B/S) にも、
- ・損益計算書 (P/L) にも、
- ・製造原価報告書にも、

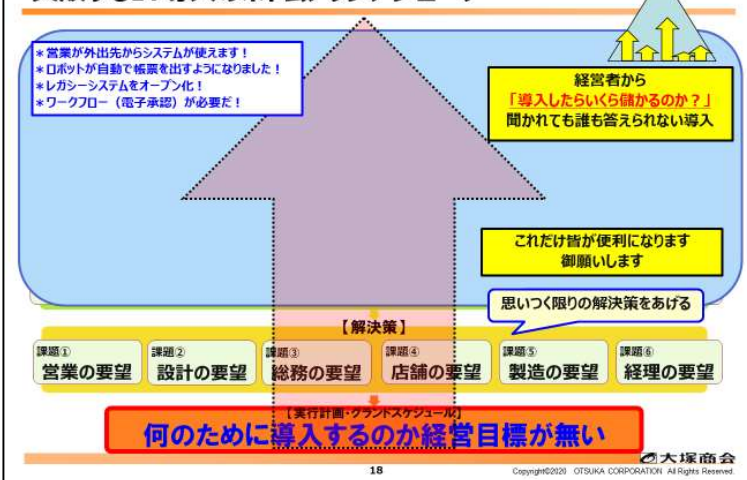
**“決算書”**に関係があるとは思えない。

皆が“便利”と喜んでいるのに、人不足も残業問題も一向に改善しないツールを導入したのに経営は導入前と何も変わらない“なぜ？”

7

大塚商会 Copyright©2020 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

#### 失敗するIT導入のボトムアップアプローチ



### 《セミナー資料より抜粋》その2

現場からDXの要望を集めても

“営業が外出先からシステムを利用したい”  
“帳票がRPAで自動で出ます！”

こんな要望が大量に集まるだけ。

経営者に「いくら儲かるのか」聞かれても  
誰も答えられないのが

**“失敗するIT化のボトムアップアプローチ”**

＜お申し込み方法＞ FAX:06-6762-7633 又はメール:omsa1@omsa.or.jp

会社名 \_\_\_\_\_

締切 1月20日(木)

連絡先メールアドレス \_\_\_\_\_

参加者 氏名 \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_

参加者 氏名 \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_

参加者 氏名 \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_

※メールでお申し込みの場合は、会社名、お名前、お役職をご記載ください。

大阪金属プレス工業会  
会員企業の皆様へ  
(単独で出展をされない会員様へ)

2021年12月13日  
(一社)大阪金属プレス工業会  
展示会推進委員会

## 「展示会に出展してマーケットを広げませんか」

拝啓

寒気の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当工業会運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、2022年4月に大阪にて開催（大阪は隔年開催）されます金属プレス加工技術展2022（INTERMOLD2022 / 金型展2022と併設開催）は来場者数45,000人以上の国内最大の金属プレス関連の展示会です。当会の会員も10社ほど単独で出展を予定されておられます。

今回は当会『大阪金属プレス工業会』として出展ブースを準備し、単独で出展をされない会員様に  
出展スペースをご提供したいと思っております。会社案内（パンフ）や製品を置いて頂いて、ビジネス交流、  
ビジネスマッチング、新しいマーケットの開拓をして頂けますれば幸いです。

敬具

### <大阪金属プレス工業会ブースの 出展概要>

開催期間：2022年4月20日（水）～23日（土） 会場：インテックス大阪

展示間サイズ：幅約4m×奥行約2m×高さ約2.7m

（標準小間サイズ 2m×2m×2.7m を2間分 確保します）

1社あたりの展示スペース：幅約80cm×奥行約50cm（×6社分を用意）

出展料：3,000円（1社あたり 大阪金属プレス工業会会員特別料金）

必要備品：必要な備品は出来るだけ当会で準備致しますが、その他で必要そうな備品など、後日  
お打合せの上、ご希望をお聞きして一部費用をご負担いただく場合もあります。

出展の流れ：①下記出展申込書にてお申し込みください。（締切：2月4日（金）まで）

②出展の説明会（オリエンテーション）を開催致します（2月21日（月）予定）

出展の詳細は説明会にてご説明を致します。

出展までは当会の展示会推進委員会が責任をもってサポート致します。

展示員について：展示会推進委員及び当会の関係者が交代で当番を致しますが、出展企業様からご  
派遣頂いても構いません。

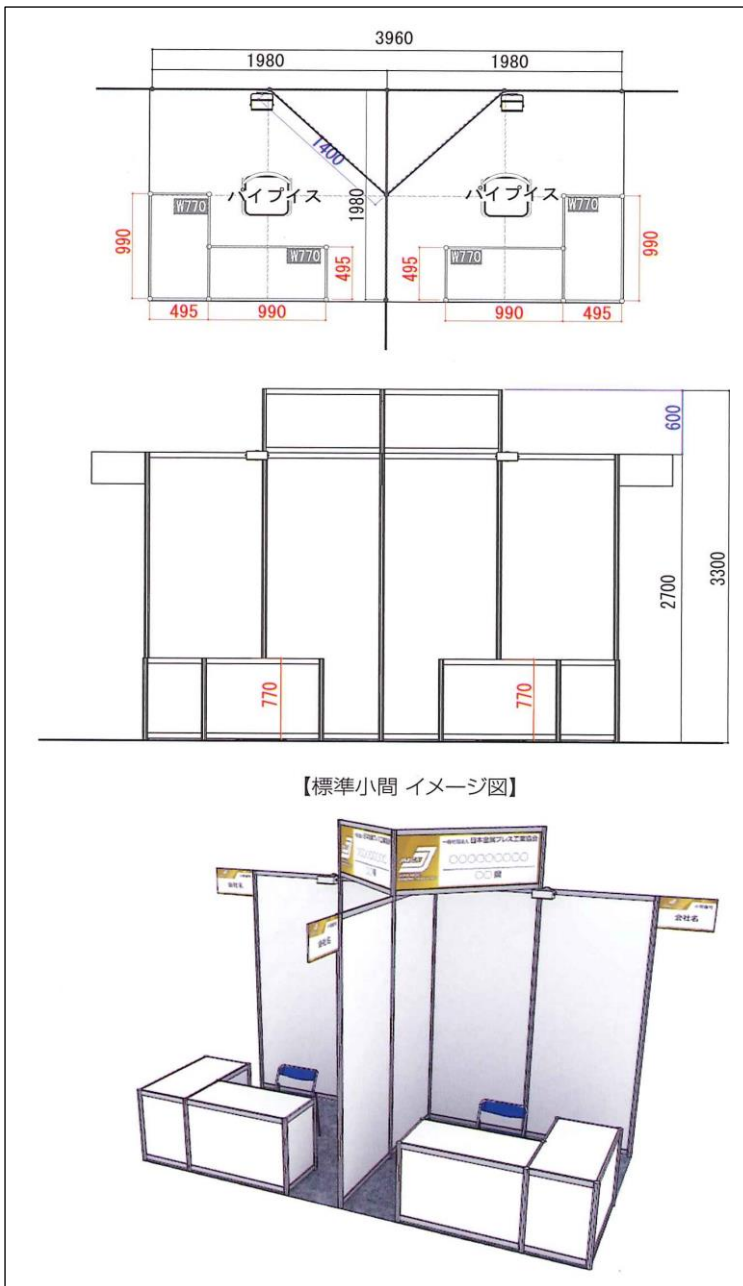
— <切取不要> —

<お申し込み> 大阪金属プレス工業会事務局 宛 FAX：06-6762-7633  
E-mail：omsa1@omsa.or.jp

会社名			
ご担当者		E-mail	

※ お申し込み後に、説明会（オリエンテーション）についてご連絡を致します。

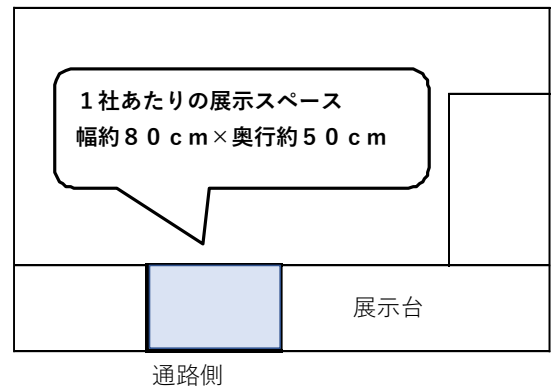
<ご参考資料>



左は標準小間×2の寸法図とイメージ図です。

大阪金属プレス工業会のブースは標準小間×2のサイズと同じですが、中央の仕切りはなく、展示台は一列に繋がったレイアウトを予定しています。

横に長い展示台の中の1社あたりの展示スペースは 幅約80cm×奥行約50cmのサイズとなります。



出展の様子

**出展のお申込みを お待ちしております！**

大阪金属プレス工業会  
会 員 各 位

令和 3年 12月 7日  
(一社)大阪金属プレス工業会  
代 表 理 事 多 田 修  
総務・経営委員長 島 田 真 輔

令和4年 新春特別講演会  
新年賀詞交歓会（夏山前会長叙勲祝）のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症はまだまだ先行きが見えず油断は出来ませんが、令和4年を迎えるにあたり、新年賀詞交歓会を開催致します。

例年のご来賓をお招きするのですが、今回はご来賓を招待せず、会員の皆様のみで執り行う予定です。また新年賀詞交歓会に先立ち、新春特別講演会を開催致します。講師は弁護士の赤堀順一郎様に、対応力とコメント力についてお話を頂く予定です。

賀詞交歓会においては、前代表理事（前会長）夏山享啓様の令和3年秋 旭日双光章の叙勲受章のお祝いセレモニーを予定しております。会食はホテルのコース料理を予定し、参加費は1社につき1名様は無料と致しますのでどうぞご参加下さい。

なお、今後の感染症の状況により内容を変更又は中止させて頂く場合もございます。

敬具

記

【日 時】 令和4年1月24日（月）

第1部 新春特別講演会 15:30~16:40

講師：赤堀 順一郎氏（弁護士 大江橋法律事務所所属）

演題：「今、求められるコメント力と対応力」

弁護士とニュースコメンテーターとしての経験から

コメント力と対応力についてお話しさせていただきます。

<講師略歴>

同志社大学法学部法律学科卒業、東京大学法学政治学研究科修了

司法修習生(第65期)、現在 弁護士法人大江橋法律事務所所属

(出演番組)

かんさい情報ネット ten. (読売テレビ)レギュラーコメンテーター

第2部 新年賀詞交歓会 17:00~18:30 (予定)

祝!夏山享啓氏 令和3年秋叙勲 旭日双光章 お祝い

会食は 着席&ホテルコース料理(1テーブル4人)

【会 場】 ヴィアール大阪 (大阪府中央区安土町3丁目1-3) 本町駅徒歩すぐ

第1部 新春特別講演会 2階 「クリスタルルーム」

第2部 新年賀詞交歓会 2階 「エメラルドルーム」

【参 加 費】 無 料 (会員様 1社1名 は 無料、 2人目からは 5,000円/人 )

(送り先) Fax : 06-6762-7633 E-Mail : omsa1@omsa.or.jp

<参加申込書> お申込みは1月12日(水)まで

令和4年 新春特別講演会・賀詞交歓会 に 参加致します。

会社名 : \_\_\_\_\_

窓口ご担当者 : \_\_\_\_\_

連絡先 : (Eメール又はお電話番号) \_\_\_\_\_

ご参加者 (下記にご記入をお願いします)

役職名	お名前	ご参加 : ○ 不参加 ×		※会費 (お一人は無料)
		特別講演会	賀詞交歓会	
				1名 無料
				5,000円
				5,000円
				5,000円

(※消費税込み)

(お支払いについて)

会費・費用が発生する方は、合計金額を大阪金属プレス工業会へお振込みお願いします。  
当日現金ではお受け取り出来ませんので、よろしくをお願いします。

(振込先) 三菱UFJ銀行 上本町支店  
口座番号 普通 0487575  
(一社) 大阪金属プレス工業会

お振込みの期日は  
**1月20日** までにお願いします

# 会員の皆様を「守り育てる」 会員の皆様と一緒に「未来につなぐ」

(一社)大阪金属プレス工業会50周年 会員パートナー宣言

我が工業会ならではの情報発信力とネットワーク環境を活かしながら

会員各社の社員様の育成のお手伝いをし

各社の業績の向上を支援します。

そしてこれらの果実を享受した会員自身が

次に工業会の情報収集力とネットワークをさらに強めていきます。

会員総てが工業会のパートナーとしての自覚を持っているからです。

ますます厳しさを増すグローバル競争の中

50周年を機に、ここ関西・大阪の地で活躍する会員の皆様が発展され

それが大阪のプレス業界を活性化して

将来世代に夢と希望を繋ぐことを目指します。

2016年5月26日

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 理事一同